

巻頭言

「情報の波」

副会長 山田耕平

令和2年度から副会長に就任しました、山田耕平です。COVID 19の影響で、理事会や研修会など、対面で集合する機会がなく、皆さんに挨拶をすることができていませんでした。書面ではありますが、報告の機会を与えて頂いた広報部の皆さん、ありがとうございます。

香川県理学療法士会は、県民の健康維持・増進、介護予防などを目的に活動しています。理事会では県士会員の身分を保証すると共に、活動しやすい環境をつくるため、日本理学療法士協会や香川県・市町村といった行政、また医師会などの他の団体と連携および協働を図っています。私の県士会での仕事は前年度に比べて増える予想し、身を引き締めていましたが、実際に増えたことはwebで会議に参加する回数でした。Web会議に関しては以前から情報として確認していましたが、対面での会話でないという固定観念があり、今までは取り入れていませんでした。しかし現在はweb会議システムを利用した会議や研修会などが主となり、実際使用してみると移動時間や旅費を節約でき、便利なことに気が付きます。これも時代の流れだと思えます。日本理学療法士協会会長の半田先生が以前、「時代は流れているから前に進むしかない。」と語られたことがあります。情報のスピードは、私が就職した26年前と比べて400倍とも言われています。つまり何もしなければ、退化していることと同じなのです。

良くも悪くも、時代は流れ、便利な世の中になってきました。この1年で研修会や会議の開催方法が大きく変わろうとしているように、理学療法士の現場においてもその流れは波及していると思えます。時代の変化を受け入れ、情報の波に乗り遅れないよう猪突猛進して参ります。

言いたいことを述べさせていただきましたが、COVID19が終息し、皆さんと対面でお話ができる日を楽しみにしています。

「備えあれば憂いなし…を目標に」

災害対策委員会委員長 山田耕平

災害対策委員会では、構成メンバーを二次医療圏から集め、災害発生時に県民および県士会員の被害を軽減するための活動を

行っています。

災害と言えば大震災や津波を想像しますが、香川県は災害の少ない地域とされ、「自分は大丈夫」と感じている人も多いかと思えます。近年は温暖化に伴う気候の変動のため、台風や豪雨などによる被害が日本各地で発生しています。近県では岡山県や愛媛県が被災し、香川県もいつ被災するかわかりません。災害により避難場所に避難した際、皆さんは医療関係者としてみられます。避難された地域住民の方から、質問を受けることがあるかもしれません。その時、皆さんは対応に困らないでしょうか。災害対策委員会では、皆さんが困らないでいように、また少しでも災害への知識を伝えることができるように研修会を開催することも役割の一つだと考えています。

新型コロナウイルスによる感染症も災害とされています。災害対策委員会内で情報を共有し、コロナ禍における県士会活動の在り方について検討し、「士会活動等の実施におけるガイドライン」や「各種事業の開催指針」の内容を適宜修正しています。その際、ステージを上げて活動範囲を拡大していくことを念頭に、最新情報と県内施設の諸事情を鑑みた検討を行っています。香川県理学療法士会のホームページの一番目立つところに掲載されていますので確認してみてください。

災害はいつ発生するかわかりません。平時から情報を入手し、防災グッズを準備するなど、災害が発生した時に対応できるよう知識と備品を整えておきましょう。

災害川柳

懐中電灯 買ったはいいいけど 箱の中



新副会長 災害対策委員長 山田耕平先生

学会部紹介

部長 久保輝明

お世話になります。学会部部長の久保輝明(三豊総合病院企業団)です。この度、学会部の紹介をさせて頂く事になりました。部の活動としては県学会の企画・運営がメインとなりますが、現在、県学会の準備委員は各二次医療圏ブロックの持ち回りで担当し、学会部と共同で学会運営を行っています。この運営形態につきましては、近年の県士会会員の増加に伴い、より多くの会員が県士会活動として学会運営に携わることで人材育成を図っていく必要があり、各施設及び各会員が学会運営のみならず演題発表などを通して学会を盛り上げていただきたいとの想いの元、第21回県学会より開始されております。

また、学会部では県学会に加えて学術的能力アップの支援やそこから日々の臨床に繋げられるような勉強会・研修会も開催できればと思い年1回程度で企画しています。ただ、現在の学会部員においてベテランは少なく比較的若いスタッフで構成されているため、私自身もより部員自身のスキルアップも含めて一緒に学ばせて頂ければと思っています。今年度は「研究発表のためのスライドデザイン(仮)」と題して研修会や学会等で使用するスライドデザインに必要な基本的ルールやテクニックについての勉強会を検討しています。募集開始時には多くのご参加をお待ちしておりますのでよろしくお願い致します。

最後になりますが、現在、新型コロナウイルス感染症の影響でこれまでのような学会運営、または研修会等が開催できなくなっており運営側としても四苦八苦している状況です。しかしながら、今後とも会員の皆様へ実りある学会・研修会等を提供していければと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

健康増進推進部の紹介

部長 菅原崇

健康増進推進部(当部)は、理学療法士として県民の健康を維持・改善することを目的に活動しています。部員は総勢13名、経験年数は2年目~22年目、所属先は急性期から維持期、介護保険分野と多岐にわたります。

当部の事業は大きく分けて以下の3事業に分類されます。

① 高齢者を対象とした健康教室などへの講師派遣

当部は依頼のあった老人クラブに対して健康教室の講師を派遣しています。また、講師には参考資料を提供し、一定の質を担保するようにしています。部員は主に主催者と講師の橋渡し役となり教室が円滑に運営されるようにサポートしています。講師を派遣することで地域高齢者の健康寿命延伸に少しでも役立てばと思っています。

② 労働者を対象とした職業性腰痛予防の啓発と講師派遣

腰痛は、労働者における身体問題の上位であり、理学療法士の介入で予防可能な疾病です。県士会会員を対象とした研修会を行いながら腰痛有病率の高い特別養護老人ホーム職員を対象とした研修を行ってきました。今後は職業別の研修に対するニーズ調査を行いながら幅広い職業における腰痛予防に貢献できればと考えています。

③ 日本理学療法士協会(以下、協会)主導の事業

協会は介護予防におけるモデル事業としてシルバーリハビリ体操指導士養成事業の全国展開に取り組んでいます。士会でも毎年、各自治体に対する情報提供や説明会を通じて要望があれば導入できるように準備しています。また、今年度から健康経営に資する理学療法士派遣事業として依頼のあった企業に対して理学療法士を派遣して腰痛予防を中心に専門的な研修や支援を行えるように体制を準備しています。

当部の事業は現在で完成形ではなく、その時の社会情勢などを踏まえて創っていくものです。今後の理学療法の対象範囲は、少子高齢化社会・医療技術の発展に伴い現状の2次3次予防の介入から1次予防の介入に広がっていくと思います。1次・2次予防に興味がある先生は、当部の事業をお手伝いして頂けるとありがたいです。今後とも宜しくお願い致します。

第49回四国理学療法士学会 in 香川のお知らせ

準備委員長 矢野誠二

2020年11月28、29日にレクザムホールで開催予定でした「第49回四国理学療法士学会 in 香川」は、COVID 19の影響により集合開催では士会員の安全が確保できないという判断で1年延期となりました。地元香川県での開催ということで発表を期待されていた先生方には肩透かしを食らう形になってしまったことをお詫びいたします。また、ともに準備を進めていたスタッフの皆様、1年の充電を経て実りある学会ができるよう更なるご協力よろしくお願い致します。

高齢化のピークが過ぎ、労働者人口減少社会を迎えつつある理学療法の現場において患者が高齢者ばかりという職場も珍しくなくなってきました。当然、重複疾患を抱える患者も増えることとなり、効率よく理学療法を提供することが困難になってきていることと思います。経験に左右されることなく、正確な理学療法を提供する一助になればと「理学療法マネジメントを思索する」を学会テーマに企画をしております。

2021年10月10日(日)、11日(祝)の開催に向けて準備を進めております。今後も開催に関して変更点が生じるかも分かりませんが、第49回四国理学療法士学会のホームページにて情報を随時更新していきますのでご確認の上、来年のご参加お待ちしております。



学 会 ホ ー ム ペ ー ジ
https://userweb.shikoku.ne.jp/kpt/49th_PTgakkai/index.html

啓発部の紹介

部長 河西宏尚

啓発部は県民の様々な世代の方たちへ「理学療法」を知って頂き、身近に感じてもらえるようなイベントの開催や、ご尽力されている各部の県士会活動をより効果的にアピールできるよう周知の工夫など、アイデアを出し合いながら新しいことにも積極的に取り組んでいきたいと思っております。

今年度は新型コロナウイルスの影響で多くの対面事業が中止となり、新しい試みとして一般の方への理学療法啓発を目的に、ホームページを利用し一般の方が視聴可能な動画や資料を掲載することで情報発信できるように準備を進めております。また、それ以外にも会員の皆様からのご意見やアイデアも反映させていきたいと考えておりますので、ご連絡を心よりお待ちしております。

最後に、7月17日は「理学療法の日」です。「理学療法の日」は、日本理学療法士協会結成にちなみ制定された日です。県民の皆様に多く知ってもらうためにもまずは会員の皆様への認知を更に広めたいと考えておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。



啓発部のメンバー(上)と活動風景(下)

生涯学習部の紹介

部長 稲田光範

僕が就職した平成6年に新人教育プログラムが開始されました。それに伴い香川県理学療法士会に「新人教育部」ができるということで、学生時代の恩師に頼まれ、就職してすぐの新人が新人を教育する部に入ったのでした。その当時の新人は研修会・学会などがあると、青色の生涯学習手帳を持って受付に並び、参加認定印を押してもらっていました。平成9年には、生涯学習システム・専門理学療法士制度が導入され、卒後の教育制度の基盤ができました。背景には毎年年間10%の会員が新人という時代になり、新人教育から生涯学習まで、幅広く援助していくことが非常に重要になりました。システムは数年ごとに見直され、2022年4月に新生涯学習システムに大きく変更されますので今後の協会情報にご注目ください。

生涯学習部の部員には、特にオーディションしたわけでもないので、野球・サッカー・トライアスロン・マラソン・トラック競技・シクロクロス(自転車)と不思議とアスリートが集まるのです。しかも東京マラソン招待選手になったり、シクロクロス全国大会に出場したりと成績もそこそこ伴っているのです。そういった方面に興味がある方は生涯学習部へお声かけください。

資格・免許を取ってゴールではなく、昔の常識が今では非常識なんてことも多くありますので、生涯学習していくことが非常に大切です。これから、自分たちの仕事を楽しみ、誇りを持って働けるように頑張っていきたいと思います。

理事会報告

第4回理事会

日時:令和2年8月20日(木)

場所:メール会議(会議期間:8月13日~20日)

出席者:理事)高橋、藤井、山田、清川、田岡、十川、梶原、永岡、

中島、森田、矢野、横川、宮崎、今井

監事)川本、澤近

議題

1. 新入会員の承認(清川)

5名の入会承認について ⇒ 承認

2. 「第9回健康寿命をのばそう!アワード(介護予防・高齢者・生活支援分野)」の被受賞者の推薦(依頼)

⇒ 推薦者なし

3. シルバーリハビリ体操指導士養成等の介護予防事業全国展開に関する業務委託(募集)

⇒ 応募しない

4. 香川県臨床工学技士会の事業に関する後援依頼

⇒ 後援を承諾

5. 士会事業下半期の対応について(継続審議)

1) 下半期の士会事業の方針について

協会に準じて、士会事業も可能な限り原則リモート形式を含めた計画・開催とする方針とすることに関して ⇒ 賛成

2) 下半期の事業準備にあたって

学会部: 県学会についてはリモート開催を視野に検討継続中。

研修部: 第1回学術研修会は感染予防策を講じての集合対面での

開催で準備中。知識シリーズはリモート形式で行う予定。

保険部: 外部・他職種からの依頼が多く、主催者側の意向や内容により対面形式になる内容がある。

香川県地域包括ケアシステム推進委員会: 県の委託事業や外部の依頼事業に関しては、感染予防マニュアルに沿って実施する。

会議ができる環境整備とリモート研修ができる環境整備が急務と考える。士会での通信契約やオンライン会議システムの契約は必要。各部でのリモート形式に対応するための見積もりや予算再検討が必要であり、これまで対応したことがないため部員の準備負担を最小限にすることが必要。

6. 地域医療介護総合確保基金を充てて実施する介護従事者の確保に関する事業の実施について

⇒ 健康増進推進部、藤井副会長、保険部で対応

7. 接触確認アプリ(COCOA)のダウンロードの推進について

⇒ 推進する

8. 研修部・学会部合同研修会の開催について

⇒ 中止とする

9. 認知症予防キャラバンの事業について

9月からの事業実施の承認に関して ⇒ 賛成

実施予定の事業については、マスクとフェイスシールドを着用の上、感染予防マニュアルに沿って実施する予定。

10. 介護認定調査員現認研修会への講師派遣について

⇒ 承認

追加審議1. 各種事業の開催指針の修正案について

⇒ リモート開催を推奨

追加審議2. 各種事業の開催指針のステージ判定

⇒ 現状からは、ステージⅡの継続が妥当。

報告事項

1. 各部・委員会・ブロック報告

1) スポーツ支援部(藤井理事)

2) 保険部(中島理事)

3) オンライン特設委員会について

⇒ 津川氏(せとリハビリステーション)へ打診・内諾

その他

2. 新型コロナウイルス感染症対策について(高橋)

⇒ 「士会の各種事業の開催指針Ver. 1」と「士会活動等の実施におけるガイドラインVer. 1」について理事会承認を経て、県士会HPに掲載した。ガイドラインは災害対策委員会の意見を参考

に修正等を行っていく予定。

3. 2020年度理学療法士講習会の開催方針について

⇒ 「研修会事業開催における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を参考に。

4. 2020年度組織運営協議会等諸会議の報告

5. 「新型コロナウイルス感染症対策を業界団体に聞く」(四国新聞社)の取材(高橋)

6. 日本理学療法士連盟組織代表候補者選考委員会報告

⇒ 8月9日(日)オンラインにて開催。募集期間8/10~24、応募資格:PT経験10年以上、かつ協会、士会、連盟等の活動歴有

7. 学術集会、研修会等の対応について

8. 学校における児童生徒の健康にかかわる皆様への緊急提言(公財)運動器の健康・日本協会

9. 会長行動録について(高橋)

10. 糖尿病対策推進に関するWEB情報交換会報告(森田)

11. 香川県地域包括ケアシステム学会報告(藤井)

12. 臨床実習指導者講習会に係る費用負担について

⇒ 5万円が近日中に県士会へ振り込まれる予定

13. かがわコロナお知らせシステムの周知依頼

⇒ LINEを活用した「かがわコロナお知らせシステム」を導入。

第5回理事会

日時: 令和2年9月17(木) 19:08~21:15

場所: オンライン(ZOOM)

出席者: 理事) 高橋、藤井、山田、清川、田岡、十川、梶原、永岡、

中島、森田、矢野、横川、宮崎、今井

部長) 津川

監事) 澤近

審議事項

1. 新入会員の承認について(清川)

⇒ 6名の入会承認

2. 細則の改定案について(横川)

⇒ 改正案を承認。施行日は令和2年9月17日。

3. 各種事業の開催指針(案)のステージに関して(山田)

⇒ 各種事業の開催指針のステージはⅡで承認された。

4. 下半期の対応について(津川)

1) 研修会・学会の開催について

⇒ ZOOMの無料と有料で、セキュリティはどちらも変わらない。VPN・ウイルスソフトなどの対策が必要。理事会や事業部、委員会にアカウントを付与できるビジネスプランが提示される。

2) 部会・委員会の開催について

⇒ LINEビデオ会議を推奨。通信費はかかる。

3) 集合対面について

⇒ ステージⅡであり、開催は可能。対面事業の開催については担当理事、局長の判断に一任する。判断が難しい場合は理事

会で審議する。

5. 下半期の事業準備にあたって(継続審議)

<現状の備品>

感染症関連物品: マスク30枚、消毒液ボトル1本(事務局保管)

通信関連物品: モバイルWIFI(事務局、生涯学習部、財務部)

ノートPC: 事務局、総務部、生涯学習部、財務部、研修部、学会部。

⇒ 備品(マスク予備、消毒液、フェイスシールド、非接触型体温計など)を各部で必要に応じて購入していただく。購入の場合は担当理事と相談し、1つの品物で購入金額が10万円以上の場合には理事会で検討する。理事会としてはオンライン会議システムZOOMとLINEを推奨する。香川県理学療法士会はZOOM proまたはビジネスの契約を行う予定であり、契約後は使用方法について勉強会を開催する必要がある。会員に対してリモート研修会を開催するにあたり、各個人でWIFI環境を整えていただく必要があることを連絡網で伝える予定。

6. 下半期の事業について

1) 研修部: 第1回学術研修会(宮崎)

⇒ 開催で承認

2) 学会部: 第26回香川県理学療法士学会(宮崎)

⇒ ハイブリッド形式での開催が承認

3) 健康増進推進部: 下半期の健康教室の講師派遣(田岡)

⇒ 上半期の健康教室は講師派遣を中止。下半期も派遣先での感染拡大防止対策を鑑み講師派遣の中止を考えている。

4) 啓発部: (十川)

⇒ 十分な感染症対策をして対面で開催する。

7. 交通傷害保険の更新について(清川)

⇒ 次年度保険料は296,800円。更新を承認

8. 令和2年度赤十字活動資金の協力依頼(高橋)

⇒ 昨年と同様3万円で承認。

9. 第3回学術集会における一般演題提出の有無について(藤井)

⇒ 1演題提出について承認。

10. 健康日本21推進全国連絡協議会モデル事業募集のご案内

⇒ 見送りで承認。

11. 高松市在宅医療介護連携推進委員会受講生の推薦について

⇒ 本年は香川県作業療法士会から参加をお願いする。

12. 障害者野球体験会への協力依頼について

⇒ スポーツ支援部より依頼があり、連絡網に周知済。

13. ブロック勉強会の開催について(森田)

今後の開催方法について県士会が契約するZOOMを利用することができるか。⇒ ZOOMビジネスにて対応は可能。

報告事項

1. 各部・委員会・ブロック報告

1) 特別委員会

2) 健康増進推進部(田岡)

3) 事務局

4) その他

2. 臨床工学技士体験イベント

⇒ 開催中止の連絡あり。

3. 新型コロナウイルス感染症に対応するための講習会の形式(案)について

⇒ 「臨床実習指導者講習会」は該当しない旨を追記

4. 四国新聞社新型コロナウイルス特別紙面各業界に聞く

5. 新型コロナウイルス感染症の影響に関してヒアリング

⇒ 8月28日小川議員によるWEBヒアリングがあった。訪問系が利用者増とのこと

6. 健康安全運動講座におけるコロナ対策留意点作成について

7. 都道府県士会における管理者ネットワーク構築に関するWEB調査について

⇒ 担当理事にて対応依頼

8. 新型コロナウイルスによる研修会等開催中止に伴う決済代行分の参加費返金について

9. 令和2年度「健康福祉月間の実施について(周知広報依頼)

実施期間: 9月1~30日 統一標語: 1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後に菓

10. 香川車いすバスケットボールクラブ四国車いすバスケットボールリーグ中止のお知らせ

11. 香川県における今後の新型コロナウイルス感染症対策について

⇒ 8/27HPへ掲載し、周知

12. 地域医療介護総合確保基金事業の実施意向調査について

⇒ 補助金事業の調査票3通、事務局から県に回答

13. 理学療法士講習会開催中止に伴う費用支弁について

14. 日本理学療法士連盟組織代表候補予定者選考委員会

15. 新生涯学習制度 最新情報の公開について

⇒ 新生涯学習制度に係る内容を協会HPのマイページに公開

16. 生涯学習ポイント付与の対象となりうるオンラインによる双方向性の発表形式について

17. 地域包括ケアシステム推進リーダー制度における導入研修・士会指定事業の整理について

18. 香川県CHEST研究会主催研修会について

⇒ 中止

第6回理事会

日時: 令和2年10月15日(木) 20:00~21:00

場所: ユープラザうたづ 1F視聴覚室

出席者: 理事) 高橋、藤井、山田、清川、田岡、十川、梶原、永岡、中島、森田、矢野、横川、宮崎、今井

監事) 澤近

審議事項

1. ガイドライン修正案 & 各種事業の開催指針Ver. 5(案)のステージに関して(山田)

1) ガイドラインについて

マスク着用の徹底を追加、手洗い・消毒の徹底を追加、体調不良者はすぐに帰宅を促すように変更、座席表の作成推奨を追加、接触確認アプリの使用推奨を追加

2) 開催指針について

ステージⅡの50人以下、ステージⅢの100名以下の文言を削除、収容定員数には運営スタッフ数も含める

3) 開催指針ステージ

ステージⅡを継続

2. 感染防止のチェックリストについて(山田)

11月開催の学術研修会で使用し修正していく

3. 2021年度理学療法士講習会について(宮崎)

基本編(テーマ:脳画像の診方 基本編)、応用編(テーマ:一次予防から三次予防までの糖尿病理学療法)の申請に対しいずれも承認された。いずれもリモート形式での開催。

4. 2021年度の県学会等日程について(宮崎)

2022年3月6日の開催では生涯学習ポイントが取得できない。現時点では協会は方針変更なしとの返答(藤井)。継続審議。

5. 高松市介護認定審査会委員の推薦について

⇒ 田岡先生、江崎先生を推薦。

6. 働き盛り世代に対する保険事業等調査及び情報提供について

⇒ 今回は見送り

7. 香川県地域包括ケア学会第2回部会の案内

⇒ 藤井副会長が出席

8. 障害者社会福祉サービス支援事業委員の推薦

⇒ 十川理事に人選を一任

9. 入会申請(清川)

⇒ 4名の入会を承認

10. 士会費の取り扱いについて

⇒ 継続審議とする。

11. 新聞広告の掲載について(朝日新聞)

⇒ 見送り

12. 広報部の追加予算について

⇒ 承認

報告事項

1. ZOOMの法人契約の進捗状況について(清川)

⇒ ZOOMビジネスプランを仮契約済み。利用料金の支払いに必要な法人カードを作成中。数週間でカードが届く予定。

2. 各部・委員会・ブロック報告(各担当者)

3. 香川県地域包括ケア学会第3回学術集会における一般演題提出について(藤井)

⇒ 岩井先生「肺炎リスクのある利用者に対しての多職種連携

について」で医師会へ連絡済

4. 日本理学療法士連盟理学療法士組織代表候補予定者第3回選考委員会報告

5. 一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会法人化記念講演(山田)

6. 組織運営協議会(10/11)報告(藤井)

7. 臨時代議員総会(10/11)報告(山田)

8. 第1回高松市在宅医療介護連携会議(7/8)報告(永岡)

9. 第1回多職種連携研修部会(7/8)報告(永岡)

10. 第1回在宅医療コーディネーター部会(8/21)報告(永岡)

11. 第2回退院支援・医療介護連携部会(8/21)報告(永岡)

12. 第2回高松市在宅医療介護連携会議(9/9)報告(永岡)

連絡事項

1. 香川県歯科医師会地域連携推進講演会

11月8日(日)香川歯科医療専門学校にて。「感染症・非感染症への歯科からのアプローチ」

厚生部からのお知らせ

厚生部部長 柳原弘規

慶弔費の申請手続きは厚生部が行います。以下の事項が発生した場合は、90日以内にご連絡ください。その際、送金は銀行振込になりますので、口座番号を柳原までお知らせください。

1) 会員が結婚した場合

2) 会員が死亡した場合

3) 会員が一ヶ月以上入院した場合

おさか脳神経外科病院 柳原まで

TEL 087-886-3300

賛助会員広告



編集後記

県士会ニュースは主に会員の皆様に県士会活動を知っていただく目的で発刊しています。今号も各部や委員会の活動を紹介して頂きました。ご協力頂きました先生方、ありがとうございました。

今回で154号となる伝統ある県士会ニュースですが、時代の流れにも合わせていく必要があるかと思っています。内容のさらなる充実や電子化に向けた検討も行っています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年は10月に入り、気持ちの良い青空が多く、寒暖差もあり、しっかりと秋を感じられるのかと思います。秋の風物詩、紅葉が色鮮やかにみられます。秋を感じることで忙しい業務から少し離れて、心身ともにリラックスされてはいかがでしょうか。

(田仲勝一)